

平成30年7月豪雨における避難行動等に関するアンケート調査結果報告

平成30年11月

山 口 県

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1

第2章 調査結果

1 回収状況	1
2 回答状況	2
問1 あなた（アンケート回答者）の年齢、性別等	2
(1) 年齢及び性別	2
(2) 世帯主	3
問2 同居の世帯員	3
問3 届いた情報	4
問4 問3の情報を知った方法	5
問5 「危ない」と感じた日時	6
問6 「危ない」と感じるもとになった情報	7
問7 とった避難行動	8
問8 同居の世帯員の行動	9
問9 避難行動について言い出した者	9
問10 自宅や地域の危険性の確認状況	10
問11 地域内の土砂災害発生状況	10
問12 避難先の決定状況	11
問13 避難経路の事前確認状況	11
問14 指定緊急避難場所（避難所）に行くことができること	12
問15 指定緊急避難場所（避難所）の不安なところ	13
問16 避難行動をとらなかった理由	14
問17 自由意見	15
3 総括	21

【参考】アンケート対象地区及び指定緊急避難場所（土砂災害）	22
-------------------------------	----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

山口県防災会議防災対策専門部会において、平成30年7月豪雨における情報伝達や住民の避難行動等について検証を行う中で、住民の方々がどのように判断・行動したかなど対応状況を検証して、今後の対策につなげていくことを目的にアンケートを行った。

2 調査の方法等

(1) 調査対象

7月豪雨の被災自治会及びその隣接自治会の全世帯

(2) 調査方法

市広報10月15日号と一緒に調査票（1世帯あたり3枚）を配布。郵送回収。

(3) 調査期間

平成30年10月3日（水）～10月22日（月）

第2章 調査結果

1 回収状況

地区	対象世帯数	回収世帯数 (回答者数)	回収率
周南市 樋口地区 ・上大歳自治会 ・小成川自治会 ・大成川自治会	82世帯	51世帯 (88人)	62.2%
岩国市 上須通地区 ・中上権自治会	6世帯	3世帯 (3人)	50.0%
岩国市 瀬越地区 ・久杉自治会 ・郷下自治会 ・郷上自治会	42世帯	15世帯 (29人)	35.7%
計	130世帯	69世帯 (120人)	53.1%

2 回答状況

● 問1 あなた（アンケート回答者）の年齢、性別等について教えてください。

(1) 年齢及び性別

【周南市 樋口地区】

(人)

区分	10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	無回答	計
男性		1	2	3	3	12	8	3		32
女性	2	1	1	4	6	12	10	4	1	41
無回答			1	5		1	7	1		15
計	2	2	4	12	9	25	25	8	1	88

【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

(人)

区分	10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	無回答	計
男性				1	1	4	2	3		11
女性				1	1	3	7	2	1	15
無回答		1				2	3			6
計		1		2	2	9	12	5	1	32

【計】

(人)

区分	10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	無回答	計
男性		1	2	4	4	16	10	6		43
女性	2	1	1	5	7	15	17	6	2	56
無回答		1	1	5		3	10	1		21
計	2	3	4	14	11	34	37	13	2	120

(2) 世帯主

(人)

区分	【周南市 樋口地区】				【岩国市 上須通地区、瀬越地区】			
	世帯主	世帯主 以外	無回答	計	世帯主	世帯主 以外	無回答	計
男 性	19	4	9	32	7	1	3	11
女 性	5	31	5	41	5	6	4	15
無回答	7	3	5	15	2	2	2	6
計	30	38	15	88	14	9	9	32

(人)

区分	【計】			
	世帯主	世帯主以外	無回答	計
男 性	26	5	12	43
女 性	10	37	9	56
無回答	9	5	7	21
計	42	46	27	120

● 問2 同居の世帯員について教えてください。

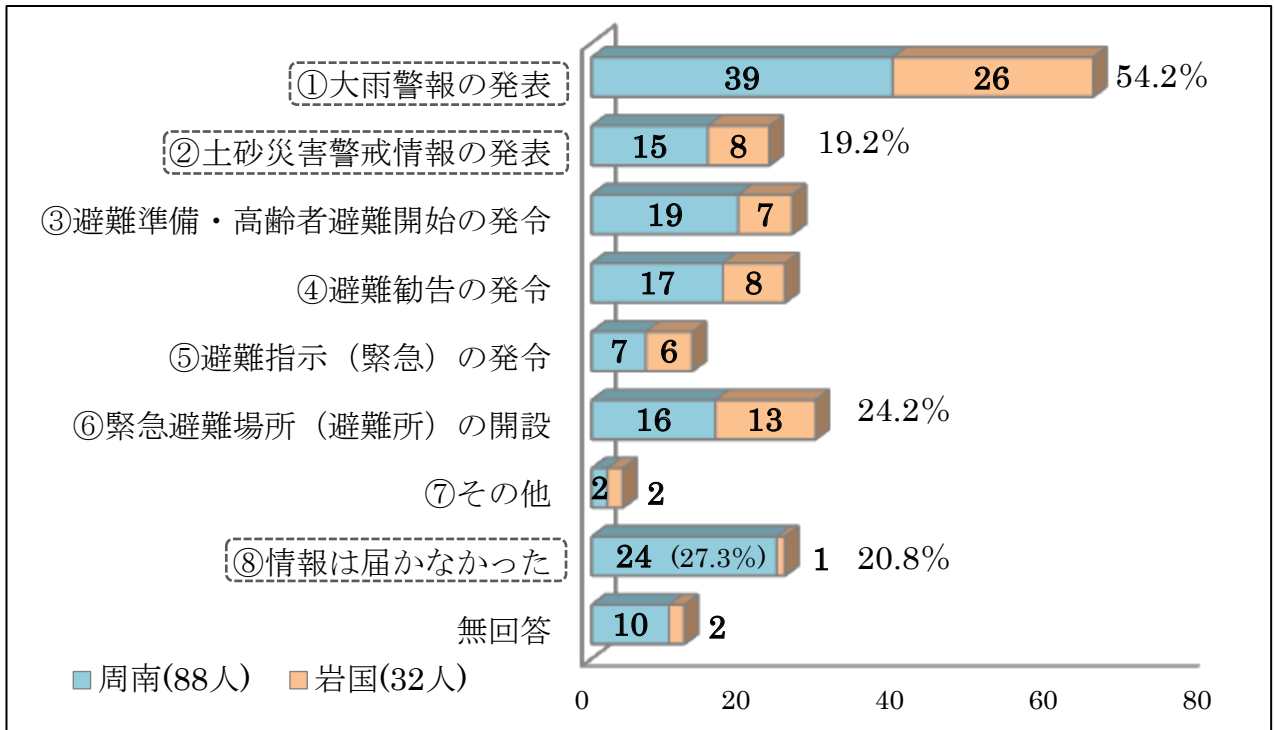
(世帯)

世帯員数	1人 (又は無回答)	2人	3人	4人	5人	6人	7人	計
周南市 樋口地区	5	19	15	4	6	2		51
岩国市 上須通地区 瀬越地区	1	12	3	1			1	18
計	6	31	18	5	6	2	1	69

● 問3 どのような情報があなたに届きましたか。 (複数回答)

★ 大雨警報を認知された方が多い (54.2%) 一方、より危険度が高まったときに発表される土砂災害警戒情報を認知された方は2割程度と少ない。

★ 20.8%の方が情報は届かなかったと回答している。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・テレビからの情報。
- ・岩国市からの緊急メール、岩国市の防災無線・サイレン。

【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

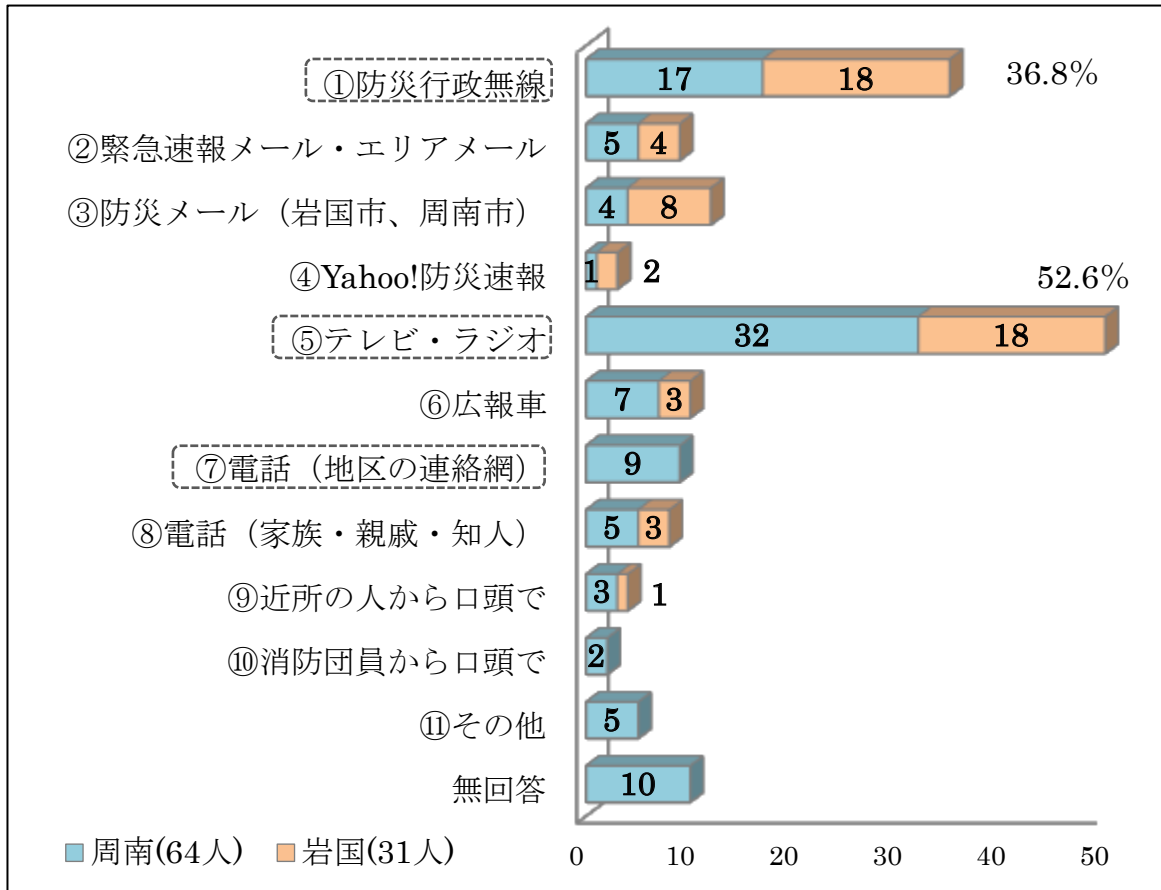
- ・NHKニュースにより大雨により土砂崩れを予測した(線状豪雨)。
- ・他の地区の避難の呼びかけの放送(防災無線)を聞き大変さを感じた。然し我が家は高台にあるためあまり感じていなかった。

● 問4 問3の情報はどうの方法で知りましたか。 (複数回答)

※問3で『⑧情報は届かなかった』と回答した人(25人)は除く。

★ 情報入手方法として、テレビ・ラジオ、防災行政無線が大半を占めている。

★ 周南市では、地区の連絡網により情報伝達されている。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・自分の家がゆれて杉の木がタンスにささったので。
- ・市職員。
- ・電話(地区社協会長)。
- ・自治会長。
- ・熊毛支所の職員の声かけ。

● 問5 いつ頃「危ない」と感じましたか。

★ 約7割の方が「危ない」と感じたと回答。土砂災害警戒情報が発表されている間の、特に夜間に「危ない」と感じ方が多い。

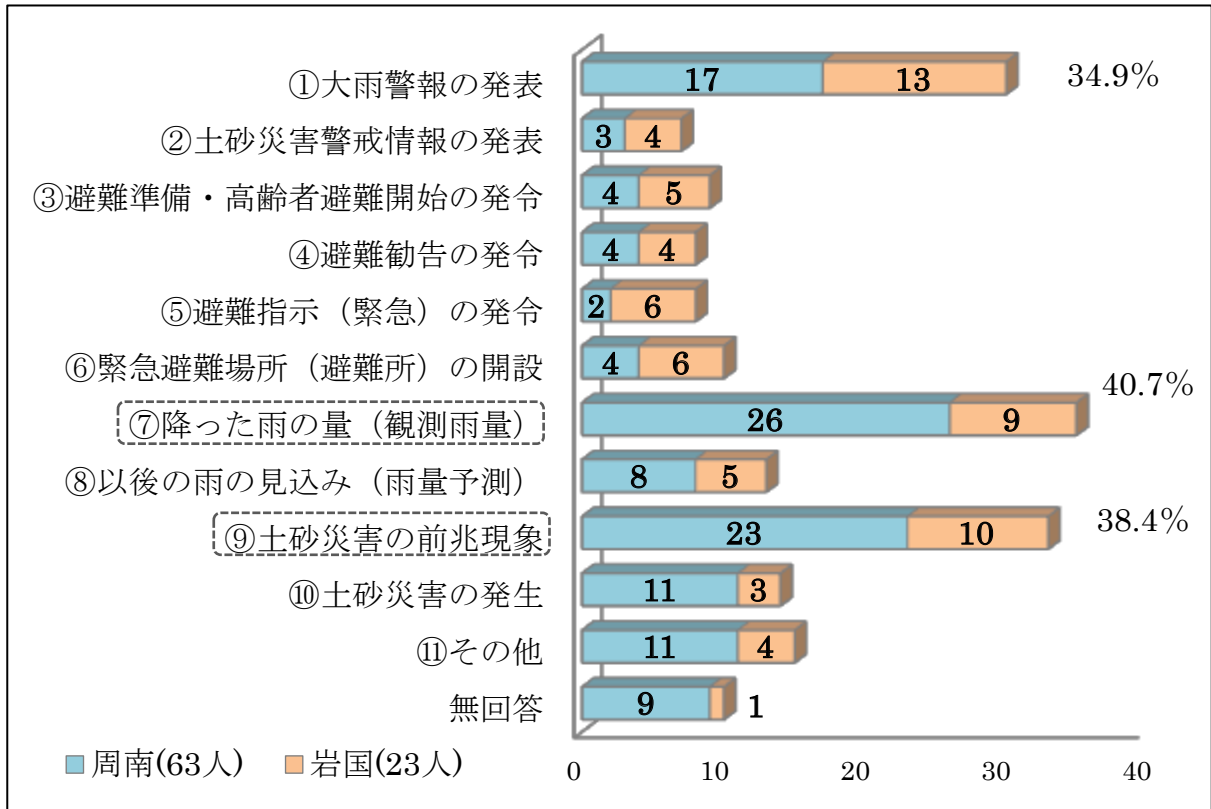
(人)

区分	周南市 樋口地区	岩国市		計
		上須通地区	瀬越地区	
①「危ない」と感じた	56 (63.6%)	2 (66.7%)	20 (69.0%)	78 (65.0%)
日時	大雨警報発表 5日 01時 50分			11 (14.1%)
	5日 04時頃 (1)	5日 20時頃 (1)		
	6日 02時頃 (4)		6日 02時頃 (3)	
	6日 04時頃 (1)	避難準備・高齢者等避難開始発令 6日 10時 00分		
	6日 06時頃 (1)			48 (61.5%)
	土砂災害警戒情報発表 6日 14時 20分(岩国市) 6日 14時 35分(周南市)			
	6日 16時頃 (2)			
	6日 17時頃 (1)		6日 17時頃 (1)	
	6日 18時頃 (2)		6日 18時頃 (1)	
	6日 19時頃 (1)			
	6日 20時頃 (2)			
	6日 21時頃 (1)			
	6日 22時頃 (2)			
	6日 夜 (1)		7日 00時頃 (1)	
7日 00時頃 (4)		7日 01時頃 (1)		
7日 01時頃 (4)		7日 02時頃 (5)		
7日 02時頃 (6)		7日 03時頃 (3)		
7日 03時頃 (7)	避難勧告発令 7日 04時 30分		7日 13時頃 (1)	
7日 04時頃 (1)				
7日 07時頃 (1)				
土砂災害警戒情報解除 7日 14時 50分			4 (5.1%)	
大雨警報解除 7日 14時 57分				
7日 夕方 (1)	大雨警報発表 7日 16時 34分			
7日 19時頃 (1)			8日 02時頃 (2)	
大雨警報発表 7日 22時 13分				
8日 02時頃 (2)				
不明 (10)	不明 (1)	不明 (4)	15 (19.2%)	
②「危ない」とは感じなかった	25 (28.4%)	1 (33.3%)	8 (27.6%)	34 (28.3%)
無回答	7 (8.0%)		1 (3.4%)	8 (6.7%)
計	88	3	29	120

● 問6 どのような情報をもとに「危ない」と感じましたか。（複数回答）

※問5で『②「危ない」とは感じなかった』と回答した人（34人）は除く。

★ 降った雨の量（40.7%）、土砂災害の前兆現象（38.4%）の回答が多いことから、事象を体感して初めて「危ない」と認識する方が多いと思われる。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・河川の流量。
- ・テレビ。
- ・川の水位。(2人)
- ・石が川で流れる音。(2人)
- ・異常な雨の降り方。
- ・自分の家がゆれて杉の木がタンスにささったので。
- ・家の前の川のえぐれる、崩れる音。ものすごい音がした。
- ・岩国市周東町のサイレン、泥くさいにおい。(2人)

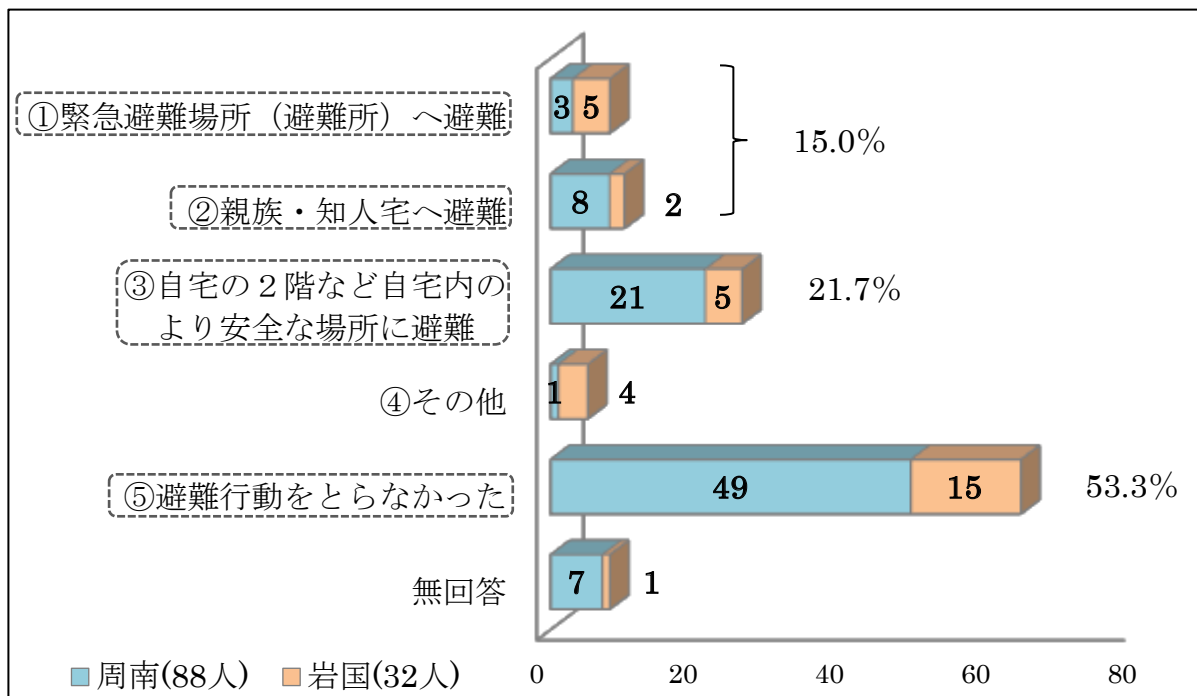
【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

- ・息子が消防団で出動途中、川のはんらんを確認し、もどってきて、避難した方がよいといったから。
- ・深夜にテレビで見て。
- ・防災行政無線からのサイレン
- ・続けてのサイレンを聞いて危ないと感じました。川を大きな音をして石が流れる音を聞いて危ないと感じました。

● 問7 どのような避難行動をとりましたか。（複数回答）

★ 緊急避難場所等への避難（水平避難）（15%）よりも、屋内退避（21.7%）の方が
多い。

★ 「危ない」と感じて、48.7%の方は避難行動をとっていない。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・いつでも家から出られるように荷物準備。

【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

- ・自宅で準備、待機。
- ・空き家になっている。
- ・実家へ帰らなかった。
- ・避難所へ行く気持ちの準備。

【参考】

(人)

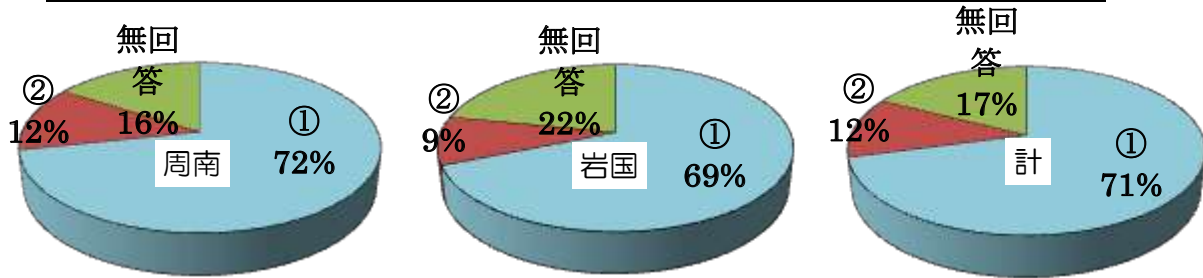
区分	問5で 「危ない」と感じた と回答	左記のうち、問7で 避難行動をとらな かったと回答
周南市	56	29 (51.8%)
岩国市	22	9 (40.9%)
計	78	38 (48.7%)

● 問8 同居の世帯員は、同じ行動をとりましたか。

★ 災害時において、世帯内では概ね同じ行動をとっている。

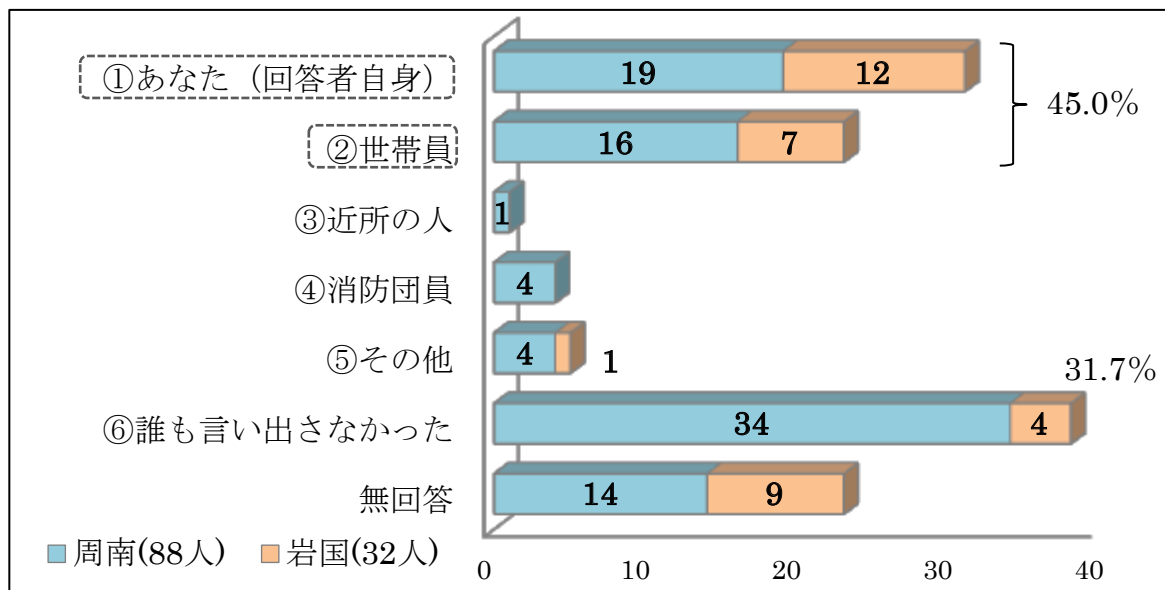
(人)

区分	周南市 樋口地区	岩国市 上須通地区、瀬越地区	計
①同じ行動をとった	63	22	85
②同じ行動をとらなかった	11	3	14
無回答 (独居含む)	14	7	21



● 問9 誰が、避難行動をとろう (とらない) と言い出しましたか。(複数回答あり)

★ 世帯内で避難行動の呼びかけがあったのが 45%である。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・他所で生活している子供。(2人)
- ・警察の指示で (あぶないので外に出ないように指示があり2階へ)。
- ・支所の職員

【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

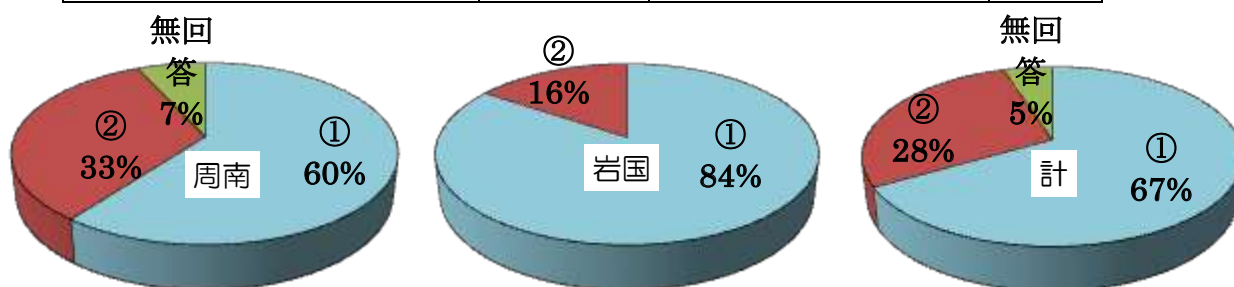
- ・子供

- 問 10 自宅や地域の危険性を、土砂災害ハザードマップなどで確認したことがありますか。

★ 67%の方が、事前に自宅や地域の危険性を確認している。

(人)

区分	周南市 樋口地区	岩国市 上須通地区、瀬越地区	計
①確認したことがある	53	27	80
②確認したことはなかった	29	5	34
無回答	6	0	6



- 問 11 以前にも、地域内で土砂災害が発生したことがありますか。

★ 災害発生履歴が、地域内において情報共有されていないと思われる。

(人)

区分	周南市 樋口地区	岩国市		計
		上須通地区	瀬越地区	
①発生したことがある	9	2	2	13
時期	3～4年前 (2) 15年前 (1) 20年前 (1) 40年前 (1) 60年前の台風 (1) S27の台風 (1) 昔としか聞いていない (1) 無記入 (1)	2000年 (1) H29.5月 (1)	聞いたことがある (1) 無記入 (1)	
②発生したことはない	39	1	15	55
③わからない(知らない)	34		12	46
無回答	6			6
計	88	3	29	120

● 問 12 避難先は事前に決めて
いましたか。

● 問 13 安全性も含め、避難先までの経路
を事前に確認していましたか。

★ 事前に避難先を決めていない方が64%いる。

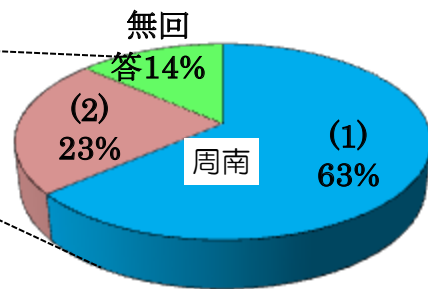
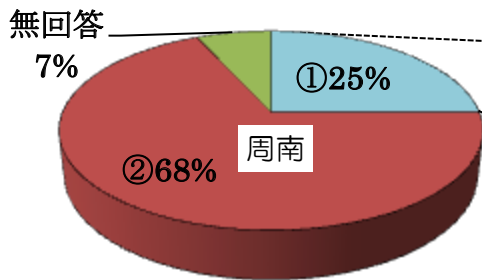
★ 事前に避難先を決めている方の大半は、その避難経路も事前に確認している。

【周南市 樋口地区】 (人)

①事前に決めていた	22
②事前に決めていなかった	60
無回答	6

(人)

(1)事前に確認していた	14
(2)事前に確認していなかった	5
無回答	3

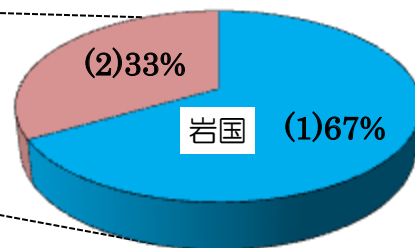
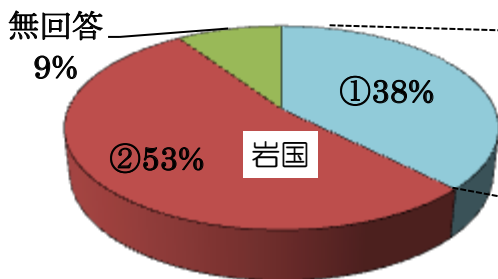


【岩国市 上須通地区、瀬越地区】 (人)

①事前に決めていた	12
②事前に決めていなかった	17
無回答	3

(人)

(1)事前に確認していた	8
(2)事前に確認していなかった	4
無回答	

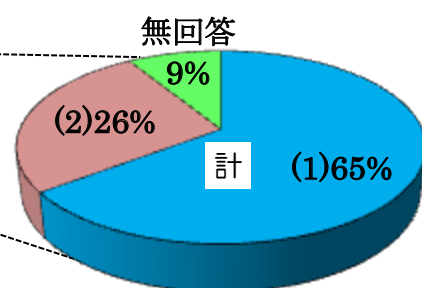
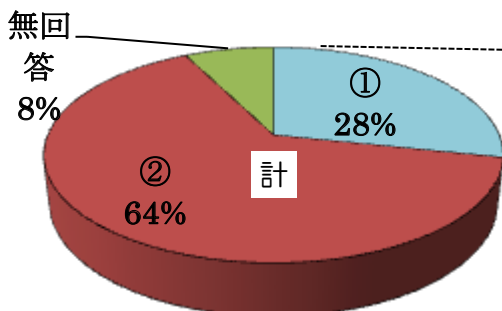


【計】 (人)

①事前に決めていた	34
②事前に決めていなかった	77
無回答	9

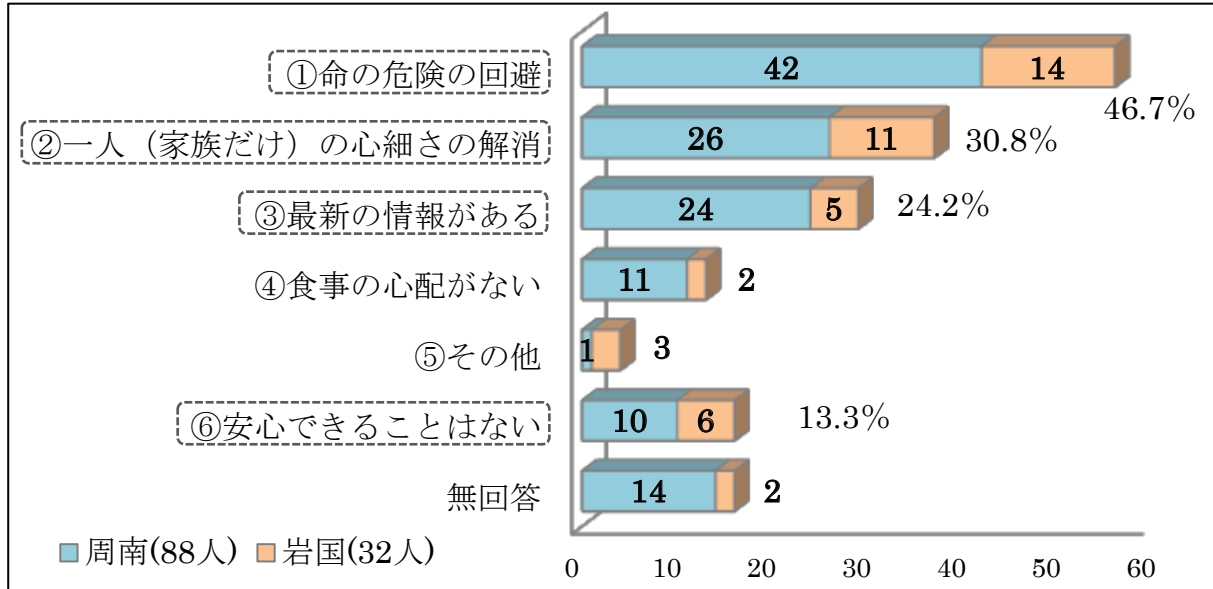
(人)

(1)事前に確認していた	22
(2)事前に確認していなかった	9
無回答	3



● 問 14 市が指定している緊急避難場所（避難所）に行くと安心できることは何ですか。（複数回答）

★ 命の危険の回避、心細さの解消、最新の情報があるとの意見が多い一方で、13.3%の方は安心できることはないと思われる。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・考えたことがない。

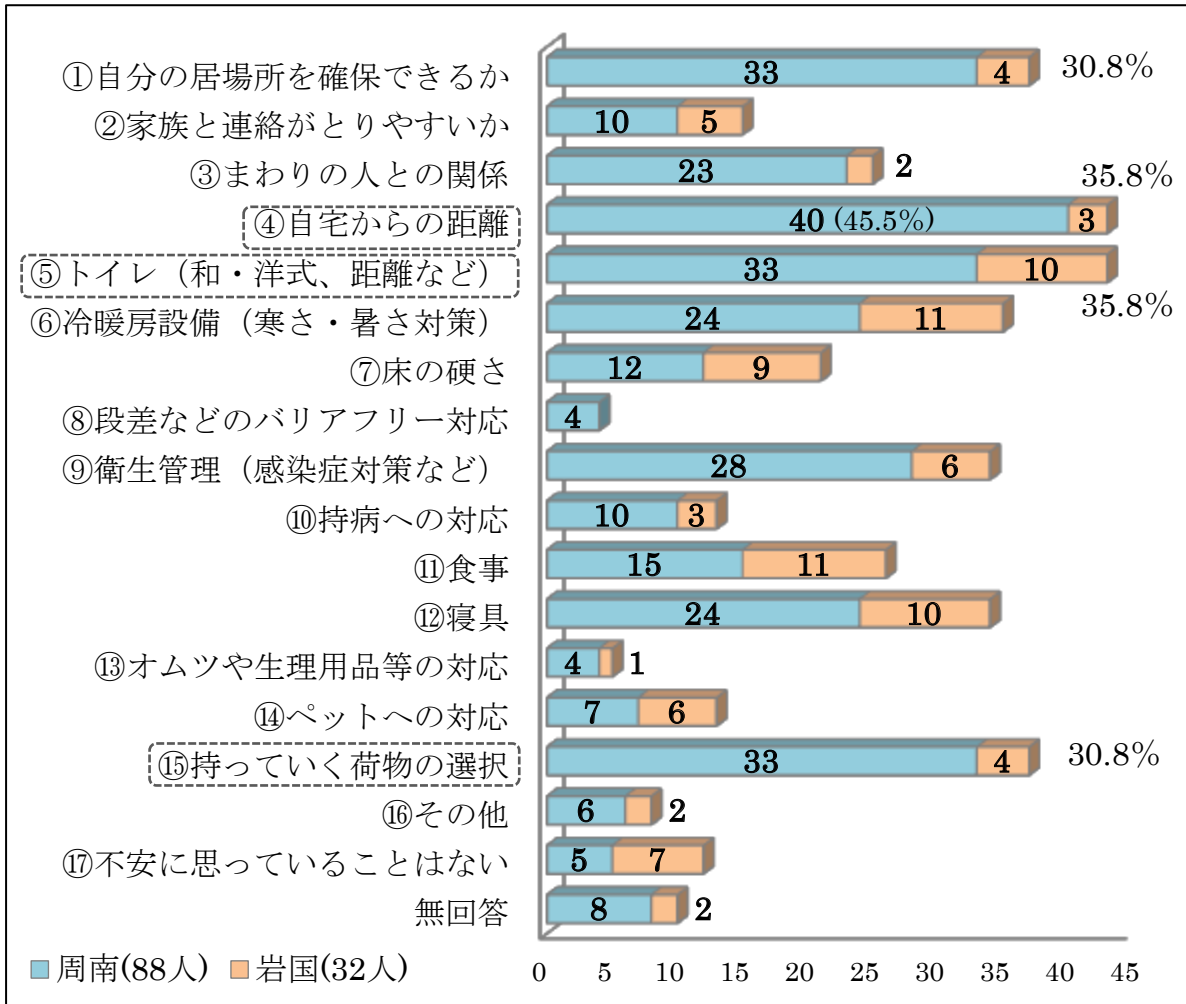
【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

- ・道中に小川があるため公民館に行くのが不安。
- ・道中危ない。
- ・皆さんに迷惑をかけない。

● 問 15 市が指定している緊急避難場所（避難所）に対して、不安に思っていることは何ですか。（複数回答）

★ 自宅からの距離（35.8%）、トイレ（35.8%）と回答された方が多い。

★ 緊急避難場所（避難所）の設備、物品に不安を持たれている方が多い。そのためか、「持っていく荷物の選択」を不安に思う方が多い（30.8%）。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・ 子供が障害者のためその対応。
- ・ 避難場所に行くまで真っ暗で危ないと思った（夜中の2時半だったので。避難所も背中に山をかかえているので。
- ・ 近くの市民センターですが、その周辺の人が入りきる大きさではない。立地も安全が保証される場所ではない。
- ・ 家の前にある川が近くまでつながっていて、家より下にある避難所に行くのを迷った。
- ・ 施設が古く、我が家の方が丈夫だから。駐車場がない。
- ・ 熊毛支所に連絡を入れないと、小さい公民館に職員がいない。

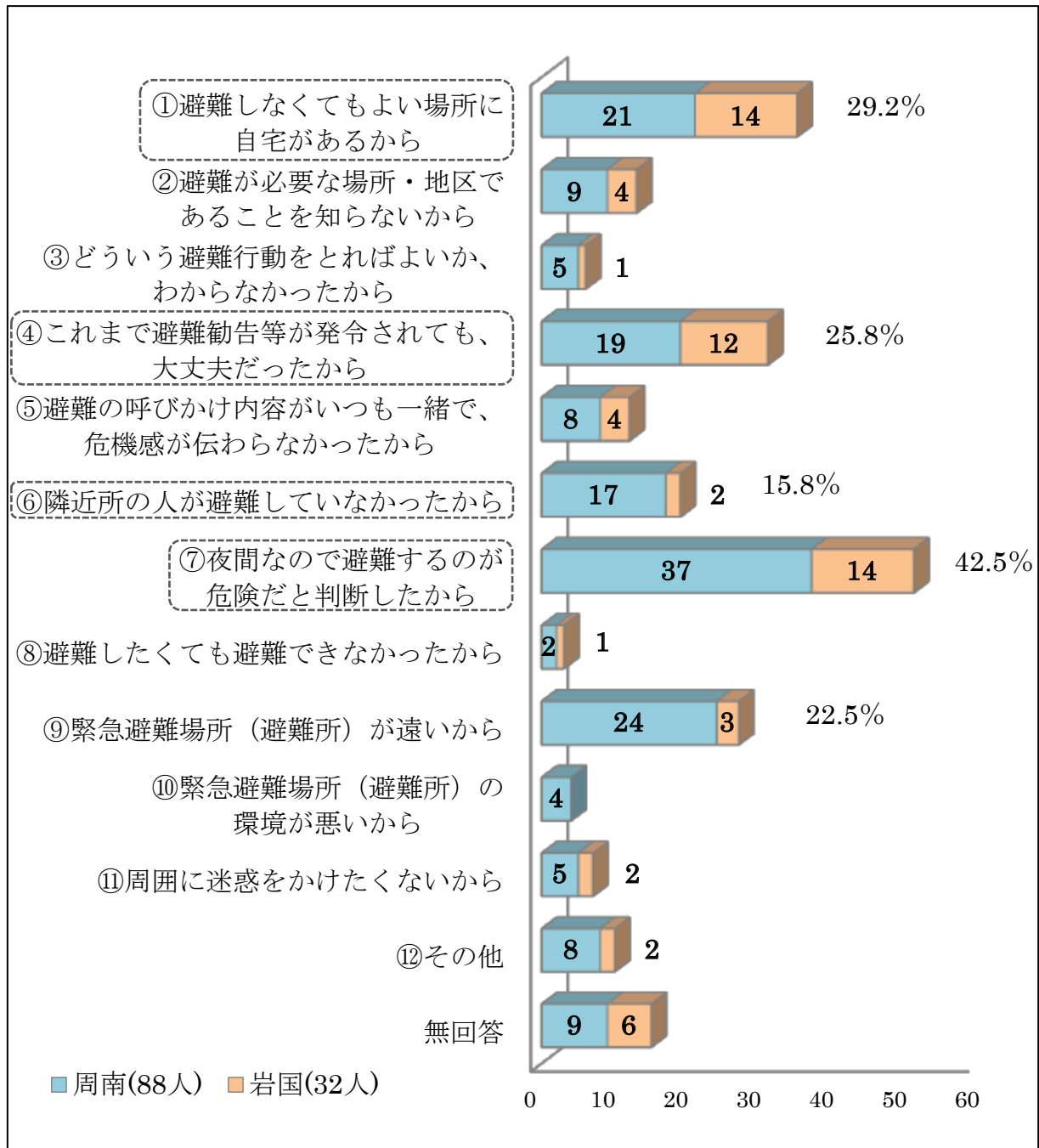
【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

- ・ 停電時の発電対策。高齢者への対応（トイレの世話、横になれるベッド等）。
- ・ 移動することへの不安。

● 問 16 避難行動をとらなかったのは、どのような理由ですか。（複数回答）

※避難行動をとった方は、どのような理由で多くの方が避難行動をとらなかったのかを考えて回答。

- ★ 避難しなくてもよい場所に自宅がある（29.2%）、夜間なので避難するのが危険（42.5%）など、自ら危険性を判断して避難行動をとらなかった方が多い。
- ★ 一方、これまでも大丈夫だった（25.8%）、隣近所の人が避難していなかった（15.8%）など、危険性を判断していない方も比較的多い。



《 その他の記載 》

【周南市 樋口地区】

- ・家に居なかったため。(2人)
- ・ペットがいる。停電してテレビからの情報が入らない。避難場所まで車で移動することになるが、車が土砂に埋もれて動かない状態になった。
- ・避難場所に行けない(道等が不通状態)。
- ・自治会長のため連絡が入ったり流したりするため。
- ・避難場所に行くまでに危険な所を通らなければならないため。
- ・自宅が鉄骨で丈夫だから。公民館は建物が古く遠いから。
- ・放送がよく聞こえないため、状況がわからなかった。

【岩国市 上須通地区、瀬越地区】

- ・夜間のため、雨量及び外の状態があまり感じられなかった。
- ・決断に迷いました。

- 問 17 この度の災害について、感じたことや思ったことがありましたら、ご自由にご記入ください。

1 被災状況に関すること

(1) 周南市 樋口地区

- ① 7月7日早朝に流木で川が増水し、道路に流れ出ていたのには驚きました。日頃から川が草木で浅くなっていたので、気になっていました。川から農業用水を引いた所は、入り口がなくなっていて、土砂も田に入ったり、収穫にはもう少し水がいる状態だったので、残土をのけるのに、年令も若くない身には大変でした。
- ② 川の水のあふれ方が予想外でびっくりした。大きな川のことしか気にしていなかったが、以外と小さい川からの土砂があふれたことによる被害が多かった。
- ③ 国道よりも奥に家がある地域では、道が遮断され、近くの方が業者さんを手配して、やっと通れるようになったようです。
- ④ 樋口地区においては、大成川、小成川において大変な災害が出たが、私有地の被害は全額自費でもって復旧しなければならない。復旧できないことによって、今後の豪雨等により下流域にさらに被害が出るのではないかと心配。高齢社会で資力も体力もなく、医者通いの高齢者は被害箇所もそのままにしておくより他に方法はない。
- ⑤ あれだけの被害になるとは思っていなかったが、7月6日の夕方で川の水が今まで見たことがない、こげ茶色で護岸が1か所少し崩れていた。私はまだそれほど危機感を持っていなかったが、夫の判断で川から離れた場所に車を移動させた。7日朝には自宅前の川沿いの道が崩落し、車の出入りは不可能になり、前日の判断がなければ車が使用できなくなるころだった。
- ⑥ 川の両岸にできた数々の崩れて壊れた所。今後、大雨等による災害が起こるのではとすごく心配している。

⑦今までにないような川の水の量になっていた。山からかなり水が落ちてきていた。

(2) 岩国市 上須通地区、瀬越地区

①私は廿日市市に在住しています。毎週金、土、日は田舎（椎尾）へ帰ります。1～2泊します。田んぼ3反と畑作業をしています。7月6日帰る予定でしたがニュースにより危険と判断し、翌日早朝家を出ましたが、自家にたどり着いたのは12時頃でした。道路が崩れていて、徒歩で山越しました。田舎の変わり果てた風景をみて愕然としました。別棟の倉庫が流出して作業道具や趣味の道具が流されました。これだけのエネルギーがどのようにして発生したのか、シミュレーションしてほしいと思います。

②家の前の川は、水かさが増えて流れが早かったが、移住して今迄こんな事は有りませんでした。

2 情報に関すること

(1) 周南市 樋口地区

①テレビの報道で大雨警報が出ているのは知っていたが、避難勧告は出ていなかった。又、避難勧告が出ていても場所が相当遠いので危険である（移動は）。

②避難場所が遠すぎるし、どこからも何の連絡がなかった。

③この度の災害が起きる前は何の連絡もありませんでした。災害があつてはじめて消防団員の人に来て避難したわけです。

④7月の豪雨の時は、避難場所、避難の呼びかけが地区委員から連絡があつた。災害があつて台風の時は広報車が避難するように呼びかけていた。今まで、台風などがあつても岩国市は事前に広報車が避難勧告や避難場所を呼びかけている。周南市はないため、いつも岩国市の広報車を参考にしていました。市街地からはなれている地区に、もう少し考えてほしいと思う。災害が起きてからではおそいのでは。もう少し考えて下さい。

⑤野外放送がもう少し聞き取りやすくなれば良いと思う。

⑥防災に対する心構えがなかったのも悪いと思いますが、6日から防災についての市の何の放送もありませんでした。7日の緊急速報メールも防災無線の放送もありませんでした。

⑦川の音がすごく、目がさえていました。情報がテレビからしかなく、どうする事もできませんでした。

⑧雨や川の水のすごい音で、放送が鳴ったとしても家の中では聞きとれない。ましてや耳の不自由な方はなおさらです。今回は夜中の出来事で、鳴ったとしても気がつかないでしょう。もっと緊急性を感じるように、サイレンを鳴らすなど、長く話すのではなくわかりやすくしてほしい。

⑨小学校からのメール情報はいつも早く、とても感心しています。中学校は、とにかく遅いと思います。

⑩深夜の大雨であつたため情報が少なく不安だった。

⑪行政からの避難行動の要請、指示がなかった。

⑫平成30年7月豪雨のときは行政からの避難の情報はなかった。

- ⑬行政からの避難に関する情報を得ていない。
- ⑭大雨の情報は同じ地域にいる友人からの情報がほとんどだった。
- ⑮避難勧告がない。
- ⑯防災行政無線？電柱上にあるスピーカーからの音が小さく聞こえない。大雨時はほぼ聞こえないので改善してほしい。
- ⑰各部落に放送を流されているが全く聞こえない。高齢者で独居は避難はしないと思うので、高齢者、独居の家は直接、勧告、指示を出して欲しい。

(2) 岩国市 上須通地区、瀬越地区

- ①急に停電し、ラジオも無線もなく、どんな状況なのか情報が全くなくなりとても不安でした。床下浸水になりだしたので、とにかく市役所（周東支所）に連絡させていただき、消防団の皆様の応援がえられ、避難場所に誘導していただき、大変うれしく感謝しております。今後は出来ることなら、もう少し早く災害に関する情報がほしいです。
- ②停電になり、テレビ、電話等もなく、自分の地区には何事もなく平穏で、少し離れた所で今までにない災害が起きている様子等知ることができず、朝起きて近所の方と（大雨だったねと）話していたけど、他の部落で大変な事が起きているなんて思いもしなかった。昼食を済まして応接間でゆっくり休んでいると娘（柳井）がテレビのニュースで川越地区が大変だと知り、連絡が取れないので主人と急いで連れに来たと言って訪れた。そこで初めて大災害が起きていたことがわかった。気付いたことは一人一台携帯電話が必要（自分はなかった）。話が通じていたら彼らに迷惑がかからなかったと思い、早速買った。
- ③停電したので、その後の情報が何も入らず、わからなかった。

3 避難行動に関すること

(1) 周南市 樋口地区

- ①今、家では主人が身体不自由な所があるものですから、それもふまえて何の行動もとりませんでした。
- ②今まで大丈夫だったので大丈夫と思わず、空振りでもいいから避難することの大切さをすごく感じました。
- ③この災害を教訓に、今度、避難行動の是非を真剣に考えていこうと思う。
- ④大雨で災害になる前に避難することが大事と思いました。
- ⑤自宅も避難場所への移動もどちらも危険。大雨の時は、どのような行動をとれば良いかわからず、自宅の2階に命の危険を感じつつ過ごしました。
- ⑥大きな災害が身近に起こっていなかったので地域の住民も避難まで行かなかった。

(2) 岩国市 上須通地区、瀬越地区

- ①ハザードマップは見ていましたが、あまり真剣に考えていませんでした。迂闊でした。前日明るいうちに皆さんを誘って避難すればよかったと悔やまれます。どどーっと水が流れて本当に怖かったです。台風の度に心配になります。リュックにつめたままにしてあります。そのときは、それに貴重品をつめて逃げるつもり

です。ご近所のお年寄りも、あの後意識が高くなり、台風の度に避難されている方もおられますが、難しい方もおられます。

- ②一人の心細さを初めて感じた。今後は避難をする事にしたいと思った。停電の長さもつらかった。自分の家に合った対処方法を考えさせられた。まとめて最低のものを準備する事にした。
- ③夜は川の石がぶつかる音でなかなか眠れません。深夜にテレビをつけてみて、これはやばいかも知れん、避難した方がいいかもと話しましたが、結局避難しませんでした。家を出てたら命がなかったです。

4 避難場所・避難所に関する事

(1) 周南市 樋口地区

- ①これからは、早めに避難しようと思っていますが、避難所にペットを連れて行けないので困っています。ケージに入れて外に置いたら OK etc 条件付きでペットも連れて行けるようにしてほしい。ペットを残しては避難出来ないという方がたくさんいます。友人宅などに避難するしかないです。何か対策を考えてほしい。
- ②避難をする場所も、自宅よりも下にある所で、決して安全とは言えない場所でした。まだ、小学校の2階、3階の方がよいのでは？と思います。川や田んぼの水路があちこちにあるので、避難場所の見直しをしてもらいたいです。
- ③昼間は明るいので心配はそれほどでもないが、夜間は暗くて、避難するにも避難所へは遠いし不安だ。避難場所を地区、地区（自治会）ごとに設けたらよいと思う。

5 行政対応に関する事

(1) 周南市 樋口地区

- ①非常事態に対して自治体は対応があまいと思う。具体的には、避難のアナウンスも悪いし、自分で聞いて初めて避難場所もわかった。
- ②避難したら部落や家が留守になるから、警察署がパトロール出来るか否か問題である。
- ③市の行政の悪さで3か月過ぎているが復興計画にそった、いっこうに進行していない。
- ④河川の整備を定期的に見回り、お願い致します。
- ⑤災害に対して対応が不適切（呼びかけ・避難、時・場所）。
- ⑥未だにガレキの山です。私達の力ではどうする事も出来ません。どうぞよろしくお願ひいたします。
- ⑦熊毛支所は何度も、総合庁舎は1度、相談に行きました。なかなか伝わらず、伝える難しさを知りました。1か月位たって、ようやく聞いていただく体制になりました。周南市役所で、土・日に相談所が開設され、地域福祉課の方と防災危機管理課の方が2人でお話を2時間位聞いていただいて、どういう手続き等説明をしていただき、くわしい資料をいただきました。それから何度ともなく、連絡をいただきました。このお二人のおかげで、すごく不安だった気持ちが、すごく落ち着きました。感謝しています。

- ⑧市や県では、状況を把握するのも時間がかかり、また、見に来て、管轄が県だと尚更時間がかかると。補強はしてもらいましたが、元にもどるには2, 3年かかると言われました。今すぐには言わないし、もっと被害が大きかった所はたくさんあると思います。次の災害がおきる前に、対応してもらいたいです。
- ⑨まだ復旧されてない所も多々あり、7月の豪雨以降、台風が来る度に不安になります。早期復旧を望みます。
- ⑩危険な箇所は早め早めの対策が、最も大切だと思います。
- ⑪岩国市との市境はすぐ近く。岩国市と周南市での対応の違いを残念に思う。
- ⑫行政の対応については入院していたため、直接感じることはなかったが、復旧作業や申請物等の対応などでかなり不満を聞いた。
- ⑬災害救助法の適用について基準があったと思うが、岩国市が適用されて周南市が適用されていない部分で、申請作業をしていく中で周南市は災害救助法の適用外なのでと言われたことがあったのが残念だった。
- ⑭ガレキの撤去作業等、もっと積極的に動いてくれるとありがたいと思った。
- ⑮今までにない災害であった。幸い人災はなかったが、川の護岸が土石流で流されたりし、それにより土地が埋まったり、又、川底がえぐられ、田の水路の井手口に水がのらなくなったが、これらの現状復帰を申請しても、一人井手（1人だけ使用する水路）では不可とか色々決め事があるようで、こういった事を緩和して修復してほしいと思います。
- ⑯朝起きて初めて災害を知った。家から出ることも外部から入ることも出来なかった。土砂、ガレキに埋もれて、排水が出来ないので台所、トイレの使用が不可能で、膝まで埋もれて、5日間トイレに困った。役所に、入口だけでも何とかして欲しいとお願いしたけれど、今回は自己責任とのこと。一度視察に来て欲しいと言っても、見に来られたのは2ヶ月も過ぎた頃。業者も知らないし、この度は市役所に対して不信感を持ちました。もう少し当事者の身になって考えることは不可能でしょうか。色々な書類を提出するのに度々役所に足を運ばなければいけない。一度提出した書類を役所全体で共有して欲しい。

(2) 岩国市 上須通地区、瀬越地区

- ①想像を絶する気象の変化で役所の方々はよく動いて下さっていると思います。でも、もう少し早い行動を期待する。
- ②市の対応がよく、すぐに消防団の応援が得られ感謝している。
- ③災害の復旧がなかなかはかどらない様ですが、なるべく早く復旧してほしいです。

6 その他

(1) 周南市 樋口地区

- ①昼間であれば状況（対応）は変わっていたと思われる。
- ②川沿いの住民は河川の状況から不安を強く感じていたと思う。
- ③今回の災害は誰もが予想していなかったと思う。改めて災害の恐怖を感じた次第です。
- ④いつも雨の降り方に注意はしていましたが、この度の雨は夜中だったのでビック

りはしましたが、あんな災害になるとは思ってもいませんでした。台風の時も、いつも川の水を見てはこれくらいなら大丈夫と自分流に安心していました。この度の災害を見てビックリする他ありません。

- ⑤あまりにも大きすぎる被害に、明るくなってびっくりしたし、近所で人が亡くなったりケガをしたりしたので悲しい気持ちです。
- ⑥雨の量は気になって、小川の水の量はいつも気にしています。雨が降ると恐くてなりませんが、家の中に小動物がいるのでどうしようと思います。自分の身は自分で守らないといつも思っています。
- ⑦思ってもなかった所の土砂災害におどろいた。となりの沢は役所からの注意の説明があったから気をつけていたが、今回は全くの無防備だった。可能性のある個所は事前に予備知識がほしい。
- ⑧災害ボランティアの方々に大変お世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。暑い中を本当にありがとうございました。
- ⑨最近よく使われる「想定外」という言葉。想定外とは言い訳で、想定して考えておかなければならないと思いました。
- ⑩あの土砂災害が起きた時の恐ろしさは未だに重く心に残っております。
- ⑪確かにいつもと様子が違ってたかもしれません。
- ⑫土石流の被害にあったのですが、ボランティアさん達のお陰で大変助かりました。感謝、感謝です。
- ⑬自分の家は大丈夫というように、どこかよそごとのように思っていたところがありました。今回目の前で災害状況を見て、とても恐くなりました。命の危険、そして生活していくうえで大変なことが今回の災害で起こってしまい、人事として考えるのではなく、もしも我が家だったらどうするかを話し合うきっかけになりました。
- ⑭帰省先が樋口の住所であり回答不能。

(2) 岩国市 上須通地区、瀬越地区

- ①空き家にしていて野菜など作りに通っているが常に災害の危険は感じている。イノシシなどに荒らされ半分あきらめています。
- ②びっくりした。何かあるのが人生、災害はあると思って対応を心がけるようにしたい。電気よりも大切なものは水だった。
- ③今回の災害で水のこわさと大切さをつくづく感じました。
- ④裏山に桧の木が有り、すぐ家の近く、もう木の葉は家屋根の半分に来ている。その木がいつ倒れてくるか不安。持主は切らしてくれない。
- ⑤まったく想像を全くこえた豪雨、こんなことはこの度以外には全くありません。はやく復旧してもらいたいものです。
- ⑥どこにいれば安心安全なのか、想像を超える自然には対処の仕方がわからない。
- ⑦地域で防災の意識が高まっているため、防災訓練や避難について考えていきたい。

3 総括

(1) 情報

- ①大雨警報の発表など避難に資する情報は、テレビ・ラジオ（52.6%）、防災行政無線（36.8%）等により大半の方に届いている。〔問3、問4〕
- ②一方、20.8%の方が情報は届かなかったと回答している。〔問3〕
- ③大雨警報の発表を受けて「危ない」と感じた方が34.9%いるものの、降った雨の量（40.7%）や土砂災害の前兆現象（38.4%）など、実際に事象を体感して初めて「危ない」と認識された方のほうが多い。
なお、「危ない」と感じた時間帯は、土砂災害警戒情報が発表されている間で、特に夜間が多い。〔問5、問6〕



(2) 避難行動

- ①「危ない」と感じても、48.7%の方は避難行動をとっていない。
避難行動をとった方の中では、緊急避難場所等への避難（15%）よりも、屋内退避（21.7%）のほうが多い。〔問7〕
- ②災害時において、世帯内では概ね同じ行動をとっている（71%）が、世帯内で避難行動の呼びかけがあったのは45%に留まっている。〔問8、問9〕
- ③事前に自宅や地域の危険性を土砂災害ハザードマップなどで確認していた方は67%いるものの、事前に避難先を決めている方は28%に留まっている。
しかし、事前に避難先を決めている方の65%は、その避難経路も事前に確認している。〔問10、問12、問13〕
- ④避難行動をとらなかった理由として、避難しなくてもよい場所に自宅がある（29.2%）、夜間なので避難するのが危険（42.5%）など、自ら危険性を判断して避難行動をとらなかった方が多い一方、これまでも大丈夫だった（25.8%）、隣近所の人が避難していなかった（15.8%）など、危険性を判断していない方も見受けられる。〔問16〕

(3) 緊急避難場所（避難所）

- ①市が指定している緊急避難場所（避難所）に行くと安心できることは、命の危険の回避（46.7%）、心細さの解消（30.8%）、最新の情報がある（24.2%）との意見が多い一方で、13.3%の方は安心できることはないと思われる。〔問14〕
- ②不安に思っていることは、自宅からの距離（35.8%）、トイレ（35.8%）と回答された方が多い。
また、緊急避難場所（避難所）の設備、物品に不安を持たれている方が多く、そのためか30.8%の方が「持っていく荷物の選択」を不安に思っている。〔問15〕

【参考】 アンケート対象地区及び指定緊急避難場所（土砂災害）

-  : アンケート対象地区
- ① 周南市 樋口地区（上大歳・小成川・大成川自治会）
 - ② 岩国市 上須通地区（中上椎自治会）
 - ③ 岩国市 瀬越地区（久杉・郷下・郷上自治会）
-  : 指定緊急避難場所（土砂災害）

